



平成18年1月
国土交通省
東北地方整備局
仙台河川国道事務所
仙台海岸出張所

巨理郡巨理町逢隈
田沢字砂押 35-1
TEL 0223-34-6970

新年あけまして おめでとうございます。

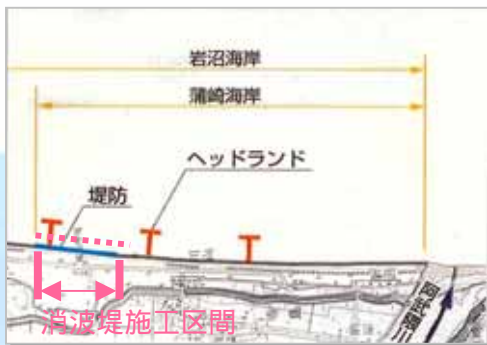
本年も海岸の工事・管理業務を遂行して参ります。
皆様の御支援と御協力をよろしくお願い申し上げます。



【キノコの笠】を施工中??

蒲崎海岸（岩沼市）と山元海岸（山元町）の海岸侵食対策工事については、平成12年8月に直轄（国）による工事を開始して以来、着実に事業が進んでいますが、山元海岸のS2号ヘッドランドについては、いよいよ「ヘッド部」の工事に着手することになり、現在施工中です。これまでに施工したヘッドランドは、延長100m（S4号は200m）のいわゆる「突堤状態」のものです。今年度は、先端の南側ヘッド部（キノコの笠の部分）が完成し、ヘッドランドとしての姿に近づきます。

【蒲崎海岸】



また、蒲崎海岸については、堤防がない区間について概ね100m毎に、延長100mの消波堤が完成し、海岸の侵食対策に効果を発揮しています。今年の3月までに更に100mの消波堤を施工することとしており、現在施工中です。

これまでの海岸侵食対策工事の進捗状況は、図示したとおりです。公共事業への予算投資が厳しい状況ですが、予算を確保し事業を進捗するためには、地域の熱意が何より強い力となります。今後とも、事業への御理解・御協力を宜しくお願い致します。

【山元海岸】



S2号
ヘッドランド
施工中

*ヘッドランド（赤は未施工、黒は施工済み） 堤防（水色は未施工）

山元海岸クリーン作戦

平成17年12月4日 8:00～10:00

山元町は町の東部が太平洋に面しており、毎年この時期に町主催で海岸漂着ごみの清掃を行っています。今回は町民の方等420名が参加し、一般・産業廃棄物3,800kgを回収しました。昨年に比べ一般廃棄物は2,610kg減少しました(産業廃棄物は増減なし)。回収には、軽・普通トラック20台(各行政区で用意)・2～3tダンプカー4台・4tユニック車1台の外、ごみ袋4,800枚と軍手(当所で配布)を使用しました。ごみの収集・運搬・処分量に合わせて132,250円の税金も使われています。漂着ごみは河川から流れてきたものがほとんどです。海や川を利用した後は、ごみは捨てずに持ち帰りましょう。参加された方は寒い中、本当にお疲れさまでした！



= 回収したごみの内訳 =

一般廃棄物	3,320kg
可燃ごみ	2,000kg
缶類	150kg
びん類	440kg
粗大ごみ	730kg
タイヤ44本・冷蔵庫1台等	
産業廃棄物(魚網・浮等)	480kg

海岸のごみはどこから？

調査によると、海岸のごみは「河川から流れてきたもの」、「海外から漂着したもの」、「海岸で発生しているもの」に大きく分けられます。

河川から流れてきたもの

河川の中にあったり、流域から流れ込んでくるゴミが洪水の時に河川を通じて海に流され、それが沿岸流の影響などで流れ着きます。川を汚すことは海岸を汚すことにつながってしまうのです。

海外から漂着したもの

他の国の文字が入ったペットボトルや空き缶、生活雑貨などが漂着しています。この事は同時に、日本から流出したゴミも外国の海岸に漂着し影響を及ぼしていると言えるでしょう。

海岸で発生しているもの

海岸を利用活動することによって出てきたゴミがそのまま放置されたもの等があります。

このようなゴミ問題は、海岸の生態系などに大きな影響を与えると共に、海岸の景観にも影響を及ぼしてしまいます。

海や河川を利用する際には、このような事実を頭に置き、ゴミを減らすよう心がけて行動しましょう！



不法投棄された二輪車(蒲崎海岸)



海岸キャラクター
チロちゃん